

外国語活動学習指導案

指導者 T1 奥 真理子
T2 ALT Glendy Soriano

- 1 日時 平成31年1月29日（火）第5校時
- 2 学年 第5学年1組（24名）
- 3 単元名 Who is your hero? あこがれの人（We Can! 1 Unit9）
- 4 単元について

【単元観】

本単元では、学級の友達のことをもっと知るために、ヒーロー発表会をして感想を伝え合うことを最終的なゴールに設定した。

児童は、自分のことを他者に伝える一人称に加え、Unit5で初めて三人称「He」「She」に出会い、canを用いて他者についても伝え合う活動をしてきた。この1年間で様々な語句や表現を学んできたが、各単元の言語材料を場面に応じて活用できるようになるためには、児童にとって意味のあるさまざまな場面で繰り返し使わせることが大切である。本単元では、既習事項であるcanに加え、be good at～「～が得意である」の表現に出会う。自分のできることや得意なことを友達と交流したり認め合ったりする学級の雰囲気大切に、自尊感情を高めていきたい。また、ヒーロー発表会やその練習のよりどころにするために伝えたい内容を表す語句や表現を用いて原稿を書く・読むという目的をもたせて取り組ませていく。

【児童観】

本学級の児童は、1学期からほぼ毎時間スモールトークをしてきた。初めは、その単元の進出表現のみを使用したやり取りが中心だったが、最近では内容・目的に応じて既習事項を活用して知りたいことを相手に質問したり、それに対して自分の本当のことを言ったりできる児童もでてきており、その場のライブ感を楽しみ、英語で話す自信がついてきている様子が見られる。この言語活動を学級全体に広めていくために、3学期は、「困ったこと・言えなかったこと」があれば発表させ、既習表現に結び付けられるよう指導の工夫を始めたところである。

「書くこと」においては、慣れ親しんだ表現を少しずつ書いていくことで負担感を感じる児童は減ってきており、教科書以外で表現したい語彙を辞書で積極的に調べるようになってきた。「読むこと」においては、文字付絵カードの提示・Sounds and Lettersの活用を通して、少しずつ慣れてきている程度である。

【指導観】

指導に当たっては、まずスモールトークで担任やALTのヒーローを写真付きで紹介し、おおよその内容を推測させ、単元のゴールイメージをもたせる。そして、「自分にとってあこがれの人・尊敬する人って誰だろう…。〇〇を紹介したいな!」という意欲につなげたい。あこがれの人には、身近な家族や友達だけでなく、大好きなスポーツ選手や偉人など本当に自分が紹介したい人を自分で決定させることで、理由（～できるから・～が得意だから・～な人だから等）も伝えたいという気持ちが高まり、ゴールに向かうまでの各時間の学習が児童にとって意味のある活動になると考える。

単元の前半は、「be good at～ing」の表現に出会い、友達とのインタビューを通して自分や相手の「得意なこと」について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませる。後半は、「Who is he(she)?Quiz」等も取り入れ、三人称のHeやSheを用いて第三者の「できること」や「得意なこと」を紹介する表現を何度も聞いたり言ったりさせる。このように音声で十分慣れ親しんだ表現を用い、ヒーロー紹介文を毎時間1文ずつ書き溜めていく。

本時においては、友達の書いた文をいきなり読ませるのではなく、その友達が書いた内容に関連するイラストを選びながら意味を捉えられるようにし、細かいステップを踏んで読むことにつなげていく。さらに、グループで確認して読ませることで、安心感をもたせたい。

このように小学校高学年においては、細かい英文の読み取りを求めるのではなく、視覚教材を理解の助けとして読ませるような活動を工夫して取り入れていくことで、児童に「読むこと」に対してまずは慣れ親しませ、自信や意欲を高めていくことが大切だと考えている。

5 単元目標

- 【コ】他者に配慮しながら、自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。
- 【慣】得意なことについて、聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむ。
音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を推測しながら読んだり、例を参考に書き写したり書いたりすることに慣れ親しむ。
- 【気】文字には音があることに気付く。

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
① 相手を意識して、できることや得意なことを尋ねたり答えたりし、伝え合おうとしている。 ② 他者に配慮しながら、自分や第三者のできることや得意なことを、考えや気持ちを含めて紹介し合おうとしている。	① 自分や第三者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。 ② 簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を読んで、意味を捉えている。 ③ 例を参考に、自分や第三者のできることや得意なこと、自分の意見を書き写したり書いたりしている。	① アルファベットの文字（活字体）の読み方には、名称のほかにも音があることに気付いている。

7 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	学級の友達のことをもっと知るために、ヒーロー発表会をして、感想を伝え合う。
目指す発話例	Who is your hero? This is my hero. He is my father. He can cook very well. He is good at skiing. He is strong. ← (She or He) Are you good at cooking? Yes, I am. / No, I'm not. What are you good at? I'm good at doing judo.

8 言語材料（下線は新出表現、語彙）

主な表現	主な語彙
<u>Who is your hero?</u> This is my hero. (He/She) is my ~. (He/She) is (good at playing tennis). (He/She) is good (tennis player). (He/She) can (cook well). (He/She) is (kind/cool/great/strong/gentle/active/brave/funny). (He/She) is my hero.	<u>hero, flute, family, father, mother, brother, sister, grandfather, grandmother,</u> 状態・気持ち(active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, funny, strong, tough) fox, yak, zebra, zoo その他児童が選んだヒーローに関する語彙

9 単元計画（全8時間）

時	目標（◆）、主なやり取り等 ・ = 誌面化されている活動	評価規準・評価方法
1	◆単元のゴールを知り、学習の見通しをもつ。 ◆得意なことの表現の仕方を知る。 ・ Let's Watch and Think 1 ・ Let's Listen 1 ・ Card relay ・ Let's Talk ・ Let's Chant ・ Sounds and Letters A: Are you good at playing the piano?	【慣①, 気①】 行動観察・発言・ワークシート・振り返りカード分析

	B: Yes, I am. /No, I'm not.	
2	<p>◆第三者のできることを含めた話を聞き取るとともに、できることを尋ねたり答えたりして慣れ親しむ。</p> <p>◆自分のあこがれの人を決め、その人ができることを例を参考に書く。</p> <p>★Small Talk ・ Let's Watch and Think2 ・ Card relay ・ Let's Play1 ・ Let's Read and Write ・ Sounds and Letters</p> <p>A: Can you play baseball? B: Yes, I can. / No, I can't. I can play shogi a little.</p>	【慣①, ③】 行動観察・発言・ワークシート・振り返りカード分析
3	<p>◆第三者のできることや得意なことを聞いたり言ったりする。</p> <p>◆自分のあこがれの人が得意なことを例を参考に書く。</p> <p>★Small Talk ・ Let's Listen2 ・ Let's Chant ・ Let's Play 2 ・ Rhythm relay ・ Let's Read and Write ・ Sounds and Letters</p> <p>He can play baseball well. She is good at playing volleyball.</p>	【慣①, ③】 行動観察・発言・ワークシート・振り返りカード分析
4	<p>◆自分や第三者についてできることや得意なことについて聞いたり言ったりする。</p> <p>◆自分のあこがれの人がどんな人かを例を参考に書く。</p> <p>★Small Talk ・ Let's Listen3 ・ Activity1 ・ Interview relay ・ Let's Read and Write ・ STORY TIME</p> <p>I'm good at swimming. I can swim fast. I'm very active. She can sing well. She is good at cooking. She is cool.</p>	【コ①, 慣②】 行動観察・発言・ワークシート・振り返りカード分析
5	<p>◆自分や第三者についてできることや得意なことについて聞いたり言ったりする。</p> <p>★Small Talk ・ Let's Chant ・ Let's Listen4 ・ Activity1 ・ Let's Listen5 ・ Let's Read and Write ・ Sounds and Letters</p>	【コ①】 行動観察・発言・振り返りカード分析
6	<p>◆あこがれの人話を聞き、その人のできることや得意なことなどが分かる。</p> <p>◆自分のあこがれの人ができることや得意なことについて、語順に注意しながら今まで書いたものを書き写す。</p> <p>★Small Talk ・ Let's Chant ・ Activity2 ・ Who is he(he/she)?Quiz ・ Let's Read and Write ・ STORY TIME</p> <p>A: She is a sports player. She can skate very well. She is good at spinning. Who is she? B: Hint, please. A: She is from Russia B:Oh, ~! A: That's right.</p>	【慣②, 慣③】 行動観察・発言・ワークシート・振り返りカード分析
7 本 時	<p>◆友達にあこがれの人について書かれた文を読み、意味が分かる。</p> <p>◆アルファベットの文字には、名称のほかに音があることに気付き、文字の音に慣れ親しむ。</p> <p>・ Sounds and Letters ★Small Talk ・ Who is he(he/she)?Quiz ・ Activity2 (Read some friend's sentence with pictures)</p> <p>A: Who is your hero? B: This is my hero. He is my father. He can cook very well. He is good at skiing. He is strong.</p>	【慣②, 気①】 行動観察・発言・ワークシート・振り返りカード分析
8	<p>◆他者に配慮しながら、自分のあこがれの人について、自分の意見を含めて伝えようとする。</p> <p>・ Let's Chant ・ Activity2 ・ STORY TIME</p> <p>This is my hero. She is my friend. She can run fast. I like P.E., but I can't run fast. She is good at playing the piano. It is fantastic. (So,) she is my hero. Thank you.</p>	【コ②】 行動観察・発言・振り返りカード分析

10 本時の計画

(1) 目標

- ・ 友達のあこがれの人について書かれた文を読み，意味が分かる。
- ・ アルファベットの文字には，名称のほかに音があることに気付き，文字の音に慣れ親しむ。

(2) 評価規準

【慣】 友達のあこがれの人について書かれた文の内容と関連した絵を選び，内容を捉えている。

【気】 同じ言葉で始まる単語2つを見て，最初のアルファベットの音を考えながら小文字を書いている。

(3) 準備物

絵カード，ワークシート，ヒーロー紹介文（+関連するイラスト）・振り返りカード

(4) 展開

児童の活動	指導者の活動・使用英語例		◎評価規準
	T1	T2(ALT)	
1 挨拶をし，ジングルを言って書く。 ・ Sounds and Letters	○挨拶をする。 ○最初の音に注目させ，最初の小文字を書かせる。	○Greeting ○Say two words slowly and clearly.	【気】 ◎同じ言葉で始まる単語2つを見て，最初のアルファベットの音を考えながら小文字を書いている。〈行動観察・ワークシート〉
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> What's this? (Students say each other.) Let's check the words. Please repeat after Glendy. What's the first letter? Please think and write. Let's say the first alphabet. </div>			
2 活動の見直しをもつ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 友達のヒーロー紹介文をイラストと組み合わせて読み，意味を理解しよう。 </div>		
3 Small Talk ① 教師同士→T1 と児童 ② 児童同士→他者紹介 (友達の得意なこと・できることを知るため)	○新出表現のみのやり取りではなく，既習表現も取り入れた言語活動を通して，定着を図る。	○ Small Talk with T1	
②	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> A: Are you good at~? B: No, I'm not. A: Oh, I see. So, are you good at ~? B: No, I'm not. A: Me, too. What are you good at? B: I'm good at~. A: ~! Nice! B: How about you? ... (状況によって Can・like・want 等既習表現も使う) </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① T1: This is my hero. She is ~. She can ~. She is good at ~. She is ~. T2: (reaction) T1: How about you? Are you good at ~? T2: No, I'm not. T1: What are you good at? T2: I'm good at ~. T1: Oh,~. Nice! Do you like~? T2: Yes, I do. How about you? (What)are you good at~? T1: I'm good at~. Etc. </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> スモールトーク後，分かったことを，She(He)を使つての紹介につなげる。 She is good at~. </div>
4 Who is he [she] ?Quiz 【character/sports player/comedian】	○can (is good at) の表現に親しませ，即興でヒントを出したり質問したりする意欲を高める。 ○多くのやり取りを経験させるため，毎時間ペアの相手やクイズを変える。 →反応も変わる	○Support students	

<p>A: He is a sports player. He can play baseball. He is good at hitting. He is from America. Who is he? B: What team? A: Carp! B: Hint, please. A: Long hair. B: Oh, Eldred. A: That's right. Etc.</p> <p>5 友達が書いたヒーロー紹介文を読み、意味を捉える。</p> <p>① 文を読み、内容に合う絵を選ぶ。</p> <p>② 声に出して読む。 (児童の文例)</p> <div data-bbox="199 851 614 1108" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>He is my father.</p> <p>He can cook very well.</p> <p>He is good at skiing.</p> <p>He is strong.</p> </div> <p>③ 班で読み合い、内容を確認する。</p> <p>④ 書いた友達を予想し、渡しに行く。 →(練習…自分のヒーローを紹介する)</p> <div data-bbox="220 1265 609 1624" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: Is this your hero? B: Yes. (That's right.) No, sorry. A: Who is your hero? B: This is my hero. He is my father. He can cook very well. He is good at skiing. He is strong. A: I see. Nice! Thank you.</p> </div>	<p>○中間評価→再チャレンジ ・よい児童を評価。 ・困ったこと・言いたかった表現があれば発表させ、既習表現が使えないか全体で考えさせる。</p> <p>○友達のイラストや絵カードが、読む際の理解の助けとなるように工夫し、推測しながら読ませる。 (違う班の紹介文・イラストを配布する。)</p> <p>○班で再度読み合うことで、イラストと内容が合っているか相談・確認し、意味を捉えさせる。</p> <p>○書いた友達に渡した際に、ヒーロー紹介をさせる。(次時の練習になる) →渡した児童は、聞くことで、自分が捉えた意味や読み方が合っていたのかを確認できる。</p>	<p>○If students are in trouble, think about hints together.</p> <p>○Support students</p> <p>○Encourage students with praise.</p>	<p>【慣】 ◎友達のあこがれの人について書かれた文の内容と関連した絵を選び、内容を捉えている。〈紹介メモ・イラスト・行動観察・発言〉</p>
<p>6 本時の授業を振り返る。</p> <div data-bbox="204 1787 922 1915" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 友達が書いた文を読んでイラストを選ぶことができた。意味がだいたい分かった。次のヒーロー発表会では、自分のヒーローを友達にしっかりと伝えたい。</p> </div> <div data-bbox="204 1926 922 2056" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) スモールトークでは、得意なことを表す言い方に大分慣れてきた。○○さんのヒーローは○○だった。なるほどなあと思った。○が得意なのは私と同じだった。</p> </div>	<p>○本時のめあてを再確認し、振り返らせる。 (言語面・内容面の振り返りを取り上げる)</p>	<p>○Make comments about reading ability and communication.</p> <p>○Greeting</p>	

11 板書計画

Unit9

Who is your hero? ㊦ 友達のヒーロー紹介文をイラストと組み合わせて読み、意味を理解しよう。

He(She) can～.

He(She) is good at～.

動作に関する絵カード

He(She) is～.

状態・気持ちを表す
絵カード

【単元のゴール】

学級の友達のことをもっと知るために、
ヒーロー発表会をして、感想を伝え合う。